2024年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名	アビックス株式会社	上場取引所	東
コード番号	7836	URL http://www.avix.co.jp	
代表者 （役職名）	代表取締役社長	（氏名） 廣田　武仁	
問合せ先責任者 （役職名）	取締役副社長	（氏名） 桐原　威憲	(TEL)045-670-7720

四半期報告書提出予定日　2023年11月13日　配当支払開始予定日　―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：無

四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2024年３月期第２四半期の連結業績（2023年４月１日～2023年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年３月期第２四半期	1,599	22.3	92	346.2	11	―	7	―	△4	―
2023年３月期第２四半期	1,307	157.4	20	76.1	△55	―	△57	―	△73	―

（注）包括利益 2024年３月期第２四半期　6百万円（　―%）　2023年３月期第２四半期　△69百万円（　―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年３月期第２四半期	△0.13	―
2023年３月期第２四半期	△2.10	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年３月期第２四半期	2,599	1,471	56.3
2023年３月期	3,056	1,465	47.9

（参考）自己資本 2024年３月期第２四半期　1,463百万円　2023年３月期　1,463百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2024年３月期	―	0.00			
2024年３月期(予想)			―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

配当の状況に関する注記

３．2024年３月期の連結業績予想（2023年４月１日～2024年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	5.3	196	13.9	40	157.1	35	223.3	10	―	0.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　－社（社名）　、除外　－社（社名）

期中における重要な子会社の異動に関する注記

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

会計方針の変更に関する注記

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年３月期２Ｑ	35,129,566株	2023年３月期	35,129,566株
②　期末自己株式数	2024年３月期２Ｑ	－株	2023年３月期	－株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2024年３月期２Ｑ	35,129,566株	2023年３月期２Ｑ	35,129,566株

発行済株式数に関する注記

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断くださるようお願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料P.２「１.当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …………………………………………………………………… 1
（１）経営成績に関する説明 ……………………………………………………………………………… 1
（２）財政状態に関する説明 ……………………………………………………………………………… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ………………………………………………… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …………………………………………………………………… 3
（１）四半期連結貸借対照表 ……………………………………………………………………………… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ………………………………………… 5
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …………………………………………………………… 7
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …………………………………………………………… 8
（継続企業の前提に関する注記） ……………………………………………………………………… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……………………………………………… 8
（セグメント情報） ……………………………………………………………………………………… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が５類感染症へと移行され、経済活動の正常化が進み、緩やかな回復の兆しが見られました。世界経済も総じて回復基調にあるものの、欧米における金融引き締め及び資源・原材料価格の高騰等が続いており、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の中、「デジタルサイネージ業界No. １」を目指すべく、引き続き積極的な拡大策を展開してまいりました。特にデジタルマーケティングに注力しWebからの情報収集を強化することにより、新しいマーケットや新規顧客も開拓することができており、スポーツ関連受注を含め案件数は増加いたしました。

これらの結果、当連結会計年度における業績は、売上高1,599,999千円（前年同期比22.3増）、営業利益11,027千円（前年同期は55,480千円の営業損失）、経常利益7,665千円（同57,774千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失4,679千円（同73,919千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

また、当連結会計年度におけるセグメントごとの業績は以下のとおりです。

①デジタルサイネージ関連事業

デジタルサイネージ関連事業は３部門あり、機器リース部門では主にデジタルサイネージのリース、運営部門ではデジタルサイネージ向けを中心とした販促支援サービス（コンテンツ配信等のソフト面でのサービスやメンテナンスの他、新たな販促支援サービス）の提供、情報機器部門ではデジタルサイネージの製造・販売を行っております。

機器リース部門、運営部門につきましては、リースや月額利用料の契約といったサブスクリプションサービスであることから、契約の増加が安定的な収益につながっております。

特に、CMS（コンテンツマネジメントシステム）「DiSi cloud」は堅調に推移しており、契約数、売上ともに第１四半期連結累計期間に続き、増加いたしました。また、「AIサイネージソリューション」につきましても、契約数が着実に増加しており、今後も「DiSi cloud」を軸とし、AIサイネージソリューション等を連携したデジタルプラットフォーム「MiRAi PORT」を積極的に展開してまいります。

情報機器部門につきましては、引き続き円安傾向という環境の中、仕入価格の高騰などの影響はありますが、上述のとおり、デジタルマーケティング、代理店との連携強化により、小売店、飲食店、学習塾など多くの業界で受注できております。

以上の結果、デジタルサイネージ関連事業は売上高1,547,142千円（前年同期比22.3％増）、セグメント利益11,516千円（前年同期は53,805千円のセグメント損失）となりました。

②Value creating事業

デジタルプロモーション株式会社が運営するValue creating事業につきましては、自ら運営するハイパーローカルメディア「タウンビジョン」や地元密着の記者、各種SNSサービスの活用やターゲットユーザーに響くコンテンツ（記事、動画）制作により、地域での企業のPR、ファン作り、集客からブランディング、また地方自治体の魅力あるコンテンツ開発など地域に係るエリアファンマーケティング（地域密着型マーケティング）を行っております。当事業はサブスクリプションモデルの事業が中心となっていることもあり、前期に引き続き安定的に売上を計上することができていることに加え、ノウハウを活用したコンサルティングなど新たなサービスの提供もスタートしております。将来的に当社グループの基幹事業とするべく、引き続き拡大展開を進めてまいります。

以上の結果、Value creating事業は、売上高52,856千円（前年同期比25.0％増）、セグメント損失488千円 （前年同期は1,675千円のセグメント損失）となりました

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第２四半期連結会計期間末の資産は、2,599,492千円（前連結会計年度比457,443千円の減少）となりました。その主な要因は、売掛金が減少したことによるものです。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末の負債は、1,128,166千円（前連結会計年度比463,513千円の減少）となりました。その主な要因は、短期借入金及び長期借入金が減少したことによるものです。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末の純資産は、1,471,325千円（前連結会計年度比6,069千円の増加）となりました。その主な要因は、その他の包括利益累計額が増加したことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年３月期の業績予想につきましては、2023年５月12日に発表いたしました業績予想に変更はございません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2023年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	421,244	429,318
受取手形	13,193	147,561
電子記録債権	89,947	156,640
売掛金	1,236,845	533,488
商品及び製品	202,731	370,894
仕掛品	8,091	19,561
原材料	3,727	5,267
前渡金	187,538	71,710
その他	14,169	30,127
貸倒引当金	△955	△658
流動資産合計	2,176,532	1,763,910
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	20,868	24,784
車両運搬具（純額）	714	595
工具、器具及び備品（純額）	86,539	88,313
レンタル資産（純額）	6,832	13,316
リース資産（純額）	22,265	15,370
有形固定資産合計	137,220	142,380
無形固定資産		
のれん	598,336	544,754
その他	44,852	41,202
無形固定資産合計	643,188	585,956
投資その他の資産		
投資有価証券	45,482	47,837
その他	54,513	59,407
投資その他の資産合計	99,995	107,244
固定資産合計	880,404	835,581
資産合計	3,056,936	2,599,492

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2023年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	321,609	223,699
短期借入金	200,000	―
1年内返済予定の長期借入金	250,817	202,651
未払法人税等	14,478	10,489
リース債務	14,599	9,318
賞与引当金	25,609	24,687
前受金	125,891	67,730
その他	74,185	114,499
流動負債合計	1,027,190	653,076
固定負債		
長期借入金	389,755	296,196
リース債務	10,567	8,100
繰延税金負債	13,302	20,304
預り保証金	150,000	150,000
その他	865	488
固定負債合計	564,489	475,089
負債合計	1,591,680	1,128,166
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,207,564	1,207,564
資本剰余金	617,740	617,740
利益剰余金	△355,842	△363,309
株主資本合計	1,469,461	1,461,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	711	1,855
繰延ヘッジ損益	△7,056	15
その他の包括利益累計額合計	△6,344	1,871
非支配株主持分	2,139	7,458
純資産合計	1,465,256	1,471,325
負債純資産合計	3,056,936	2,599,492

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2022年４月１日 至 2022年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2023年４月１日 至 2023年９月30日）
売上高	1,307,831	1,599,999
売上原価	894,466	1,121,688
売上総利益	413,365	478,310
販売費及び一般管理費	468,845	467,283
営業利益又は営業損失（△）	△55,480	11,027
営業外収益		
受取利息	604	602
受取配当金	111	135
為替差益	953	―
その他	323	278
営業外収益合計	1,992	1,016
営業外費用		
支払利息	4,246	4,133
その他	39	245
営業外費用合計	4,286	4,378
経常利益又は経常損失（△）	△57,774	7,665
特別損失		
固定資産除却損	―	0
特別損失合計	―	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△57,774	7,665
法人税、住民税及び事業税	5,965	3,315
法人税等調整額	6,496	6,496
法人税等合計	12,461	9,812
四半期純損失（△）	△70,236	△2,146
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,683	2,532
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△73,919	△4,679

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2022年４月１日 至 2022年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2023年４月１日 至 2023年９月30日）
四半期純損失（△）	△70,236	△2,146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	428	1,143
繰延ヘッジ損益	－	7,072
その他の包括利益合計	428	8,216
四半期包括利益	△69,807	6,069
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△73,490	3,536
非支配株主に係る四半期包括利益	3,683	2,532

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2022年４月１日 至　2022年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△57,774	7,665
減価償却費	22,634	27,907
のれん償却額	53,582	53,582
貸倒引当金の増減額（△は減少）	78	△296
受取利息及び受取配当金	△715	△738
賞与引当金の増減額（△は減少）	△2,105	△921
支払利息	4,246	4,133
売上債権の増減額（△は増加）	△118,440	502,295
棚卸資産の増減額（△は増加）	△122,396	△181,173
仕入債務の増減額（△は減少）	60,110	△97,909
前渡金の増減額（△は増加）	△165,343	115,827
その他	△8,035	△27,715
小計	△334,157	402,657
利息及び配当金の受取額	715	738
利息の支払額	△4,246	△3,893
法人税等の支払額	△3,247	△6,981
営業活動によるキャッシュ・フロー	△340,936	392,521
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△34,290	△713
有形固定資産の取得による支出	△43,112	△26,175
無形固定資産の取得による支出	△6,722	△3,112
その他	－	△4,843
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84,125	△34,844
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	－	△200,000
長期借入金の返済による支出	△146,268	△141,725
リース債務の返済による支出	△8,917	△7,877
財務活動によるキャッシュ・フロー	△155,185	△349,602
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△580,247	8,074
現金及び現金同等物の期首残高	874,674	421,244
現金及び現金同等物の四半期末残高	294,426	429,318

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　2022年４月１日　至　2022年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		調整額 (注１)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	1,265,530	42,300	―	1,307,831
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,680	―	△1,680	―
計	1,267,210	42,300	△1,680	1,307,831
セグメント損失（△）	△53,805	△1,675	―	△55,480

（注）１　セグメント売上高の調整額△1,680千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

２　セグメント損失（△）の調整後の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

３　セグメント損失（△）には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　2023年４月１日　至　2023年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		調整額 (注１)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	1,547,142	52,856	―	1,599,999
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,628	81	△1,710	―
計	1,548,770	52,938	△1,710	1,599,999
セグメント利益又は セグメント損失（△）	11,516	△488	―	11,027

（注）１　セグメント売上高の調整額△1,710千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

２　セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整後の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

３　セグメント利益又はセグメント損失（△）には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。